

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、適切な避難行動をとりましょう

<知っておくべき5つのポイント>

- 避難とは「難」を「避」けること。
安全な場所にいる人まで避難場所に行く必要はありません。
- 避難先は、小中学校・公民館だけではありません。
安全な親戚・知人宅に避難することも考えましょう。
- マスク・消毒液・体温計が不足しています。できるだけ自ら携行してください。
- 市町村が指定する避難場所などが変更・増設されている可能性があります。
市ウェブサイトなどで随時確認するようにしましょう。
- 豪雨時、屋外移動は車も含め危険です。やむをえず車中泊をする場合は、
浸水しないよう周囲の状況などを十分確認しましょう。

<問合せ> 災害対策課
☎072-958-1111 内線 2713



避難行動判定フロー

スタート!

ハザードマップで自宅の位置を確認し、
印をつけてみましょう。

自宅の位置は色が塗られていますか?

いいえ

色が塗られていなくても、周りと比べて低い土地や崖の側などにお住まいの方は、市区町村からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。

はい

災害の危険があるので、原則として(※)、
自宅の外に避難が必要です。

例外

※浸水の危険があっても、
①洪水により家屋が倒壊または崩落するおそれの高い区域の外側である
②浸水する深さよりも高いところにいる
③浸水しても水がひくまで我慢できる、水・食糧などの備えが十分にある場合は自宅に留まり安全確保することも可能です。
※土砂災害の危険があっても、十分堅牢なマンションなどの上層階に住んでいる場合は自宅に留まり安全確保することも可能です。

ご自身または一緒に避難する方は避難に
時間がかかりますか?

はい

安全な場所に住んでいて身を寄せられる
親戚や知人はいますか?

はい

「警戒レベル3」が
出たら、安全な親戚
や知人宅に避難
※日頃から相談して
おきましょう

いいえ

「警戒レベル3」が
出たら、市区町村の
指定緊急避難場所に
避難

いいえ

安全な場所に住んでいて身を寄せられる
親戚や知人はいますか?

はい

「警戒レベル4」が
出たら、安全な親戚
や知人宅に避難
※日頃から相談して
おきましょう

いいえ

「警戒レベル4」が
出たら、市区町村の
指定緊急避難場所に
避難

あなたのとるべき 避難行動は?



ハザードマップ
ポータルサイト
QRコード

ハザードマップは、浸水や土砂災害が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。ただし、着色されていないところでも災害が起こる可能性があります。